

様式第2号(第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		第1回 川島町環境保全審議会並びに川島町廃棄物減量等推進審議会会議録
開 催 日 時		令和6年9月26日(木)午後2時00分から午後4時20分まで
開 催 場 所		川島町役場 2階 大会議室
議 事		(1) 川島町環境総合計画(環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画)について (2) 川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)について (3) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴者なし)
出席者	委 員	武笠 徹・野村 尚男・片山 博文・後藤 真太郎・鈴木 貞美・菊池 建太 鈴木 健・飯島 久美子 ・瀬間 さやか・笛木 由美・江間 裕一 計11名
	事務局職員	町民生活課 課長 伊原 同 生活環境グループ 主幹 友野・主査 山木 同 ごみ処理施設整備推進室 主幹 岡部 同 施設管理グループ 主幹 横山
配 付 資 料		・会議次第 ・川島町・桶川市ごみ処理広域化について(報告事項) ・環境基本計画の概要について(資料1-1) ・「川島町環境基本計画」に基づく令和6年度施策の進捗状況について(資料1-2) ・環境基本計画における令和6年度(9月末までの上半期見込み)の主な取組に対する進捗状況について(資料1-3) ・清掃事業概要(令和5年度実績)(資料1-4) ・川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)(資料2-1) ・二酸化炭素排出量 集計及び比較(資料2-2) ・川島町施設管理計画(資料2-3)
審議会の内容・概要		
1. 開会 2. 委嘱状の交付 3. 町長あいさつ 4. 会長、副会長の選出 5. 会長、副会長あいさつ 6. 報告事項 川島町・桶川市ごみ処理広域化について		
委 員	住民の意見を反映した件数は5件ということでよいか。	
事務局	ご質問のとおりで川島町から1件、桶川市から4件で、計5件の意見を反映させている。	

7 議事

- (1) 川島町環境総合計画（環境基本計画・一般廃棄物処理基本計画）について事務局より、川島町環境基本計画の概要（資料1-1）、令和6年度9月末までの進捗状況（資料1-2、資料1-3）および一般廃棄物処理基本計画にもとづく清掃事業概要（資料1-4）について説明。

《意見及び質疑応答》

委員 議会で環境問題について取り上げられることがあるのか。

事務局 年4回の定例会のなかで2回は質問されている感覚がある。最近では生ごみ処理機の補助金の件や集団資源回収の実施について質問があったため、生ごみ処理機の補助金を再開する、集団資源回収の単価を増額する対応を行った。他にも災害ごみの扱いや新ごみ処理施設の進捗状況についても取り上げられたことがある。

委員 環境センターの取組を費用対効果で見たときに輸送コストやリサイクルコストの面で削減できる部分があるのではないかと。ただ、やりすぎてしまうと町民サービスが低下してしまうこともあると思うので、総合的に判断してもらえればと思う。

また、製品のなかでもリチウム電池が内蔵されているものが増え、家庭で取り除くのが難しくなっているが、処分したときに発生する火災が怖いので、慎重に対応している状況である。

事務局 リチウム電池が原因と思われる火災は増えてきており、町内でも、3月にパッカー車が燃える事例が発生している。細かく分別するように徹底することもできるが、その分回収に費用が掛かるようになるため、回収した後に入で分別するか、新しい機械を導入するか費用対効果を見て検討していきたい。

【議事1について承認】

- (2) 川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）について事務局より、川島町地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）の内容について（資料2-1）および取組状況について（資料2-2）（資料2-3）をつかって説明

《意見及び質疑応答》

委員 公共施設に設置されている太陽光パネルの数を教えてほしい。また蓄電池の有無や自家消費なのか売電目的なのか把握していたら教えてもらいたい。

事務局 太陽光パネルが設置されているのは、役場庁舎、コミセン、各小学校に設置している。蓄電池の有無までは把握できていない。小学校については決算書で売電収入があるため、売電している分もあると考えているが、自家消費している分があるかどうか環境課として押さえるようにしておく。

委員 新たに公共施設に太陽光を設置する計画はあるのか。食品残渣からでるガスによる発電を取り入れる予定はあるのか。

事務局 太陽光パネルについては新しくできる統合校に設置する予定はあるが、それ以外は今のところ計画はない。食品残渣からでるガスを活用した発電についても現在計画はない状況である。

委員 昔から言ってきたが、コロナ明けに使用量は増えると考えられてきたが一方では減らすと言っている。しかし、最近の気候を考えると空調の使用は今後も増え続けると思う。その中で、使用量の削減が望めないと思うので、あらたに発電施設を設けて供給面から取り組む必要があると思う。

事務局 空調の使用については、現在学校の体育館にもエアコン設置を進めているため、今後も増えると想定している。その分LED照明の交換について、各課からの意見もでていますが前倒しできるよう取り組んでいきたい。

委員
(会長) 必要なところは使えるように考慮しているということか。

事務局 使用を制限することは考えていない。空調でいえば、具体的な温度設定を示すのではなく、それぞれ環境に応じて適正な温度で使用してもらうことを想定している。

委員 排出係数は電力会社ごとに違うがどのように利用しているのか。同じことを続けても意味がないと思うので、今ある施設の代替ができないのかという方法を検討しているのか。例えば軽油使用の重機を電気使用の重機に変えるのかなど。

事務局 排出係数については、政策推進課で公共施設の電力会社を一括で契約しているため、そちらの会社が公表している排出係数を利用している。代替については、所管課で検討してもらっている状況である。町民会館では灯油を使った空調設備となっているが、入れ替えをするなかで、灯油のままで行くか電気式で行くか検討して進めている。町民生活課からは、そういった基準については特に示していないが、電気のほうが排出係数は小さいという話はしている。

施設の代替ができないかという考え方をもってもらえるように次回の会議では職員に共有したい。

委員
(会長) 買い替えの際は費用対効果をもって進めているのかもしくは、何か基準を設けてそれ以上の性能のものに変えるように情報共有をしているのか。

事務局 学校ではエアコンの更新をすすめているが、特にこの性能以上のものではなくてはいけないといった基準を町としては定めていない。ただ、そういった目安があったほうが、更新も進めていきやすいと思うので、環境部局として提示できるようにしていきたい。

【議事2について承認】

5 その他

委員より、最近の近況や環境問題について意見をもらった。

- ・安藤川沿いの川の広場についてもう少し整備して日ごろから活用できるようにしてもらいたい。
- ・水害が懸念される。働いている人の避難先についての情報がほしい。
- ・山に行くと、ふもとなのに野生動物を見かけることが多くなった。同様に川の生態系も護岸工事等で影響を受けているのか気になる。
- ・気温が高い日が多いため草刈りが大変である。日中では暑すぎるため作業もできず苦勞している。
- ・川越では、昔水車が多く設置されており、自分でも小水力発電ができないか考えており、環境に関心を高めるようにしている。
- ・小規模農地に太陽光パネルを設置するケースが増えている。30年先の処分ができるのか農業委員でも不安に思っている。規制する方法がないのか考えてもらいたい。
- ・ナガエツルノゲイトウが広範囲で見かけるようになり繁殖力がすごいと感じている。何か対策をした方がいいと思う。
- ・スズメとは違う野鳥が多く飛ぶようになり、糞への対策に苦慮している。
- ・学校におけるエアコンの使用についてはなるべく制限をかけないでほしい。また教室内でエアコンが当たる場所とそうでない場所とムラがあるのが気になっている。
- ・学校給食の指導として残さず食べることにに対する指導方法でいきすぎにならないよう注意してほしい。
- ・親から昔の川島町の話を知ると昔の生活を体験したいと思う。
- ・太陽光発電についてはどうしてもデメリットの面が気になってしまう。子供たちに川島町の豊かな自然が残せるように取り組んでももらいたい。
- ・太陽光パネルについてはいろんな業者がいるので、対応は難しいと思うし、所有者からすれば、農地として管理ができなくなっている中での活用方法なので、規制するのも難しいとは思いますが、対応方法は考える必要がある。
- ・今年も暑い日が多く、温暖化が進んでいることを実感している。また、ゲリラ豪雨も増え、今対策を行わないと戻れなくなると不安になる。野菜などの品質も悪くなっているように見え、国として対策を進めていく必要があると思った。

その他事務局より、出席に伴う報酬の額と振込時期について説明
次回会議について、令和7年2月20日（木）午後2時に実施する旨伝達。

6 閉会

署 名	武笠 徹
	野村 尚男